

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

こうして、みなさんと向かい合っていると、一緒に過ごしてきた二年間の出来事が次々と思い出されます。

二年前、様々な期待と不安を抱えながら入学してきた私たちの目の前には、常に先輩たちの姿がありました。どんな時でも仲間と協力し壁を乗り越え、仲間とともに笑いあう先輩たちの姿は、常に私たちの憧れであり目標でした。

先輩たちと過ごした中で、思い出されることはたくさんあります。まずは、日常生活の姿です。常に冷静で後輩のことも気にかけてくれる先輩方は私たちの目指す姿で、いつもその背中を追いかけてきました。しかし、先輩方はルールを守ることはもちろん、いろんなことに自治的に取り組んでいました。また、毎日の掃除では、私たちよりも厳しい基準で全員が集中して掃除をしていました。そんな先輩たちに追いつける日は来るのかと不安になることもありました。この様なきつちりとした生活の中でも、先輩たちは仲間と笑い合い、どんな時でも明るく過ごしていて、そのような姿からは輝かしい絆を感じることができました。

バロー文化ホールで行われた合唱祭では、一体感と迫力のある歌声がホール中にも響いていました。女性パートの高く透き通るような歌声と、男性パートの太く厚みのある歌声が重なり合う合唱は、聞いている私たちの心を動かしました。どんな所でも堂々と歌う先輩たちの姿からは、先輩としての誇りと強い信頼関係が伝わってきました。先輩方のような合唱をしたいと思い、私たちこれまで以上に熱心に合唱に取り組むことが出来ました。平中の四本柱の一つである合唱が、さらに誇れるものとなったのは先輩たちのあの歌声があったからです。本当に感謝しています。

日常生活で行われる生徒会活動でも、先輩たちは輝いていました。執行部や専門委員長の皆さんを中心に、学校をよりよくしようと様々な取り組みを行ってくださいました。ただキャンペーン活動を行うのではなく、活動の意味や込められた願いなども丁寧に示して下さいました。より充実した活動をすることができ、今年度最後のキャンペーンでは全校オール〇を取ることができました。自分たちがやるきただけでなく、教室の環境整備がなかなかうまくできないクラスには直接注意してくださいたり、無言で掃除するキャンペーンの時には、全掃除場所を見まわってくださいたりしました。全校でやりきろうとする姿に、最高学年としてどうあるべきかを学ぶことができました。

この三年間、先輩たちは大きな壁にぶつかったとしても仲間とともに助け合い、協力し合って乗り越えてきたことと思います。そんな日々を過ごしてきた先輩たちは、今こうして胸を張って卒業を迎えようとしています。先輩たちがこれから歩む

道には、きつと悩みや苦しみが待ち受けていると思います。そんな時には、今までの仲間や新たに出会う仲間と手を取り合って精一杯歩んでいってください。

私たちも、先輩たちから学んだ「仲間と団結することの大切さ」「仲間を思いあることの大切さ」をしっかりと胸に刻み、さらにレベルアップした姿を目指して頑張っていくきます。

最後になりますが、この二年間、本当にありがとうございました。先輩たちのご活躍と輝かしい未来を心から願っています。

令和二年三月十七日

在校生代表